

十年一昔 (その十七)

「本町新国道添界限」

「おや！同じ写真が二枚並べてある？」と不審に思われる方がおられると思います。

去年の春

餅草摘みし野の果に

建築用地の札建てあり

これは最近の或短歌誌に載っていたものです。十年も経

ては勿論のこと、時には去年の面影がすっかり失われてしまっている場合も少なくない、というのが近頃の横芝町です。それが往還添ともなりまして更に烈しく、外来の人達が戸惑うこともあるようです。

ところが、一、二六号国道添のすぐ傍に、またこの国道の



役場の前から新国道を銚子方面に進み本町交差点の信号機が確認できる辺りに車両待避所があります。そして其処に等身大の警察官の模型像が建っています。そのすぐ後の十字路から斜左手の前方にビニールハウスが数棟見え、それがこの写真の場所なので

約十年前、横芝町にもよくやくビニール隧道による促成栽培が普及した頃、此の辺りの若い篤農家は農業改良普及員の指導や役場産業担当係等の援助を得てビニールハウスによる果菜類の栽培に着手したのです。毎、トマト、胡瓜、いんげん、と次第に高度な技術を要するものの栽培へと進み、更に甜瓜の栽培にも成功し、今年にはマスクメロンも作付けしてこれが順調に育っているということです。上の写真は約十年前のものでカ

の写真ですがよく見ますと手前のハウスの正面に建っていた電柱が姿を消している外周辺の立木も何本か伐り倒されています。そしてその内容にも大きな変遷を秘めているのです。

今月は十年一昔ということ



第三回成人学校

開講せまる

第三回の横芝町成人学校が六月十五日から開講になります。今回は、いまままで開設しておりました料理、手芸、民謡、書道、ペン習字、趣味の園芸のほかに俳句、ローマ字、暮しの法律の各講座を新設して九科目により開設いたしました。俳句講座は、元横芝小学校長の高品虎洞先生をお願いして、俳句を初めて学ばれる人のために俳句のつくり方、鑑賞のしかたをわかりやすく指導していただき多くの皆さんに俳句を楽しんでいただきます。また、ローマ字教室は最近、私達の生活の中にはローマ字が氾濫しており、戦争中に学ばれた一部の方々やまた年配の方々にはあまりローマ字を学ばれていない方があって、日常生活の上で困ることがあると思います。このような方のために横中の佐

瀬宏先生をお願いしてローマ字の読み方、書き方の基礎から学んでいただき日常生活に役立て戴きたいと思っております。また、暮しの法律は、今回は税法の巻としまして日常生活の中で必要な所得税、相続税、贈与税、県税、町税等についての知識を各専門講師によって実例をあげながら判りやすく指導して戴き、それぞれ役立て戴きたいと思いい開設しました。以上各科目とも初心者を対象としておりますので、どなたも遠慮、気兼ねなく受講されますようおすすめ致します。受講希望者は六月十五日までに公民館事務室に申込み下さい。詳細については各戸配布の受講のお知らせをご覧ください。

日、町民皆様の個々の間にはいろいろと複雑した問題や悩みが生じていることと存じます。このたび中央公民館では、これらの諸問題についての解決のお手伝いをさせていただくために左記のとおり「よろず相談所」の開設をいたしました。この相談所は、皆様からのご相談に応じて備えつけてある図書や参考資料情報等を提供することによって、自から問題の解決が出来るように便宜を図るものです。また、自から解決出来ない問題については、関係専門機関により解決が図れるよう手配をいたします。

囲碁、将棋道場の開設

中央公民館では、毎週日曜日午前九時から午後五時までを、碁、将棋愛好家のため中央公民館の二階和室を開放することになりましたので、愛好家の方々はお誘い合せてお出掛け下さい。尚利用に当たっては規則正しく使用いただき公民館使用上の遵守事項等を必ず守っていただきたいと思っております。只今公民館には碁の用具は十二組、将棋の用具は二組揃っております。

「よろず相談所」開設のお知らせ

毎日めまぐるしく変動する社会情勢の中で、人々の生活様式が多様化してきている今